

報道関係者各位

株式会社ディスコ

### 8月1日時点の内定率は85.5%。前月からの伸びは小幅にとどまる

～キャリアス就活2019 学生モニター調査結果(2018年8月発行)～

株式会社ディスコ(本社:東京都文京区、代表取締役社長:新留正朗)は、2019年3月卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)を対象に、8月1日時点での就職活動に関する調査を行いました。(調査期間:2018年8月1日～6日、回答数:1,033人)

#### 1. 8月1日現在の内定状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・図表1、2

- 内定率は85.5%。7月調査(81.1%)からの伸びは小幅にとどまる
- 前年同期実績(88.2%)を2.7ポイント下回る
- 就職活動を終了したのは全体の78.5%。継続者は2割強

#### 2. 就職活動継続学生の今後の動向

- 選考中の企業は平均1.4社。受験予定を合わせた持ち駒企業は2.8社。
- 今後エントリーを予定している学生の平均予定社数は5.7社
- 新たな企業を探す手段は「就職情報サイト」83.9%、「求人票」34.5%の順
- 「志望の見直しはしない」が増加傾向(34.4%→38.1%)

#### 3. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング(当初志望度別)

- 第一志望の企業に決めた学生は「インターンシップ参加時」が最多(30.1%)
- 第一志望群や、当初は志望していなかった企業に決めた学生は、「選考試験を重ねていく中で徐々に」が最多(それぞれ36.6%、44.0%)

#### 4. 就職決定企業のインターンシップ参加経験・・・・・・・・・・・・・・・・・・図表3

- 就職決定企業のインターンシップへの参加経験者は36.8%。前年(28.4%)より増加
- 参加時期は「2月」が最多。「8月」が次点で、早期に接点を持った企業に決める傾向も

#### 5. 就職活動方針の変化(3月調査との比較)・・・・・・・・・・・・・・・・・・図表4

- 就活開始当初の方針と、実際の進め方とで乖離。当初の方針よりも絞って活動
- 「気になる企業はとりあえずエントリー」「セミナーにたくさん参加」は予定より減少
- 「事前に業界を絞ってから活動」「学業を優先して負担のない範囲で活動」は増加

#### 6. 就職活動の難易度(活動状況別)

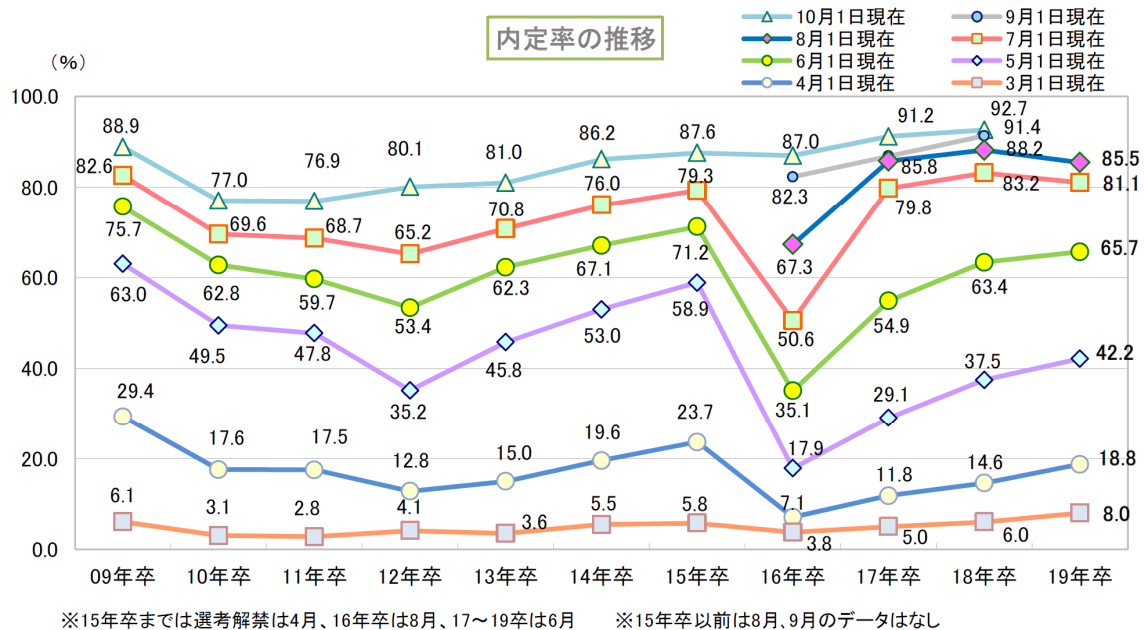
- 活動終了学生は「やさしい」が「厳しい」を上回る
- 継続学生は「厳しい」が過半数。とりわけ未内定者で厳しさが際立つ

詳細レポートはこちら：[http://www.disc.co.jp/uploads/2018/08/19monitor\\_201808.pdf](http://www.disc.co.jp/uploads/2018/08/19monitor_201808.pdf)

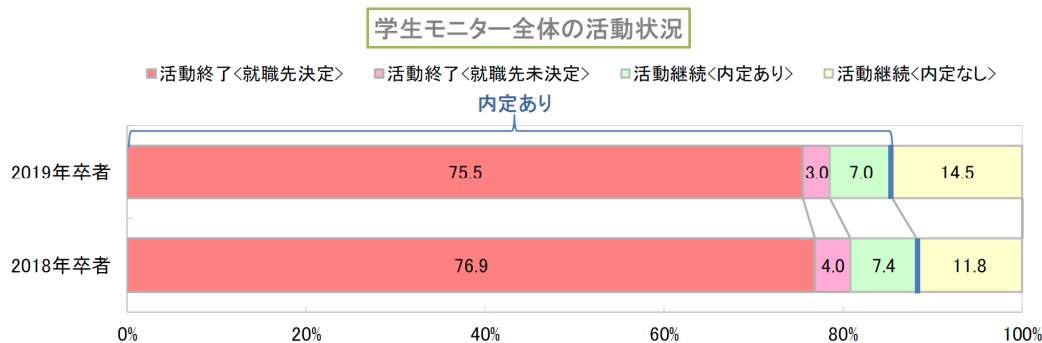
##### 【調査概要】

- 調査対象 : 2019年3月に卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数 : 1,033人(文系男子313人、文系女子300人、理系男子280人、理系女子140人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2018年8月1日～6日
- サンプリング : キャリタス就活2019学生モニター(2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」)

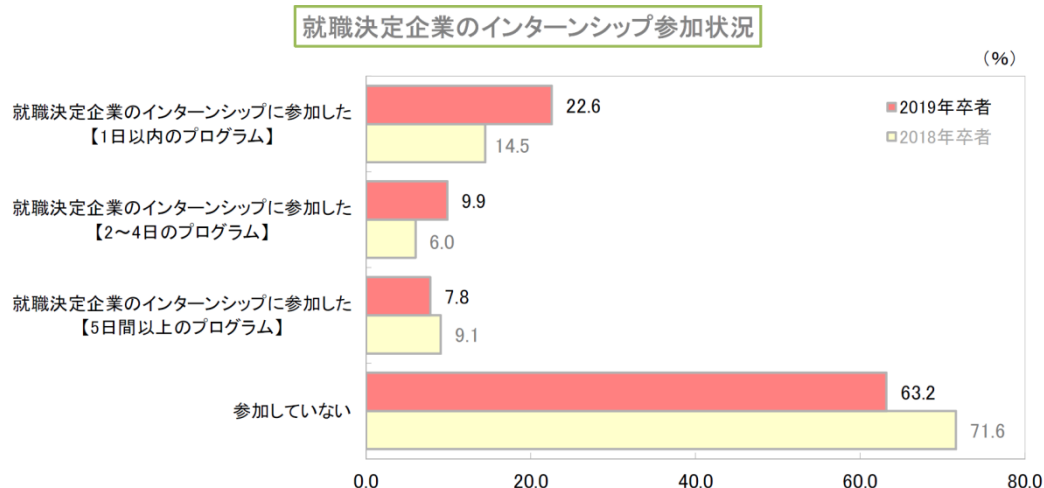
図表 1. 8月1日現在の内定状況



図表 2. 就職活動の進捗状況



図表 3. 就職決定企業のインターンシップ参加経験



図表4. 就職活動の方針の変化（3月調査との比較）

